

2024 年度第 1 回栃木県臨床細胞学会理事・評議員議事録

日時： 2024 年 11 月 30 日（土） 15：00～15：30

場所： 獨協医科大学病院 教育医療棟 5F シミュレーション室

【出席者】

安達 輝樹、石川 美保子、石田 和之、大谷 美雄、大和田 倫孝、川村 政人、
桑久保 修、清水 和彦、鈴木 智子、竹井 裕二、田村 勝幸、中里 宜正、
中村 雅哉、中野 公子、平林 かおる、藤原 寛行
(50 音順、敬称略)

I 報告事項

1. 庶務報告

1) 会員数

144 名（医師 39 名、細胞検査士 105 名）（2024 年 06 月 28 日現在※）

148 名（医師 42 名、細胞検査士 106 名）（2024 年 11 月 06 日現在）

※関東臨床細胞学会事務局へ報告した年月日

2) 今回の第 75 回栃木県臨床細胞学会学術集会の参加単位

細胞診専門医： 2 単位

細胞検査士： JSC 10 単位、IAC 3 単位

日本産婦人科学会： 1 単位

産婦人科医会： 1 単位

2. 前回議事録（資料 1）

前回：2023 年 12 月 09 日（2023 年度第 2 回）

3. 栃木県臨床細胞学会学術集会の今後の予定（資料 2）

- ・2025 年度（第 76 回）は自治医大病理の福嶋先生が担当。
- ・2026 年度（第 77 回）は国際医療福祉大学病院が担当（病理の中里先生にお願いできることを確認）。

4. その他（資料 2）

1) 関東臨床細胞学会の今後の予定：

2025 年度 静岡県

2026 年度 茨城県

2027 年度 埼玉県（本来の順番では山梨県）

2028 年度 山梨県（本来の順番では埼玉県）

※2023 年度の決定事項（2023 年 12 月 9 日の栃木県理事・評議員会で報告）：

- ①全都県が一度は登壇・発表してもらえるよう配慮し、プログラム全体を考える。
- ②一般演題をプログラムに入れるか入れないかは、当番都県の裁量とする。入れる場合も自発的応募に任せ無理に集めない。
- ③開催形式は“現地開催と事後オンデマンド配信の併用”とする。
- ④当番以外の都県もプログラム作成の段階から関与し協力する。
- ⑤関東臨床細胞学会全体として、プログラム・抄録集はインターネット上公開のみとし、印刷・配布はいずれ廃止する。

2) 栃木県細胞検査士会の活動報告

- ・ LOVE 子宮啓発活動 宇都宮ロマンチック村他 令和 6 年 4 月 7 日
- ・ 細胞検査士養成活動 1 次、2 次試験対策模擬試験（栃木県臨床検査技師会と共催）
 - 1 次：獨協医科大学病院（参加者 23 名）令和 6 年 10 月 13 日
 - 2 次：自治医科大学附属（参加者 31 名）令和 6 年 11 月 10 日

3) 栃木県臨床細胞学会事務局からの案内

- ・ 事務局メールアドレスが 2024 年 5 月に新しくなりました。

＜新＞

jscc-tochigi@outlook.com …… 個別のメール送受信に使用

jscc-tochigi@jscc.or.jp …… 一斉メール送信に使用

上段のアドレスは本年度、事務局ノート PC 購入後に設定したもの。

下段は日本臨床細胞学会から栃木県臨床細胞学会に配布されたもの。

会員への一斉メール送信は下段のアドレスではできますが、上段のアドレスではできない（有料の契約が必要）。

＜旧＞（現在、使用していません）

byouri@ashikaga.jrc.or.jp

- ・ 会費納入の方法（口座：ゆうちょ銀行）

＜現在の払込方法＞①か②のいずれか

- ① 払込用紙（払込用紙郵送は廃止、メールで記入見本を添付）
- ② インターネットバンキングによる払込み

＜旧払込法＞

払込用紙（振込先口座の印字されていない払込用紙を会員に郵送）

- ・ 会費納入について

年に一度、メールにて年会費納入のお願いをしています。できるだけ納入期限内の納入をお願いします。また、会費未納の会員には連絡を差し上げております

ので、滞納のないようお願いします（会則第9条）。

- ・ホームページ

各種お知らせ、学術集会の情報、議事録、会則、役員名簿、事務局連絡先などを見ることができます。議事録を見る時のみパスワードが必要です。

- ・会員情報について

会員情報の変更時は栃木県臨床細胞学会事務局にもご連絡ください（全国の臨床細胞学会への変更届の内容は栃木県には届きません）。入会、退会の手続きも忘れずをお願いします。

年に1回、日本臨床細胞学会から、都道府県地域連携組織（都道府県の臨床細胞学会）の事務局に所属会員の確認の連絡がきて会員情報の照合をしています。正確な情報登録をお願いいたします。

II 協議事項

1. 2023 年度決算報告（資料3）

会計監査2名の署名、捺印のある監査報告書が示され、会計監査の大和田先生から2023年度決算報告がなされ、承認された。

2. 2024 年度会計報告（資料4）

2024年度途中であるため、事務局で作成された2024年度上半期（4～9月）までの会計報告が示された。2024年度の支出合計は予算の範囲内で収まる見通しであり、承認された。（2024年度決算報告は2025年度の理事・評議員会で協議される予定である）

3. 2025 年度予算（案）（資料5）

収入合計4,941,286円のうち、前年度繰越金4,941,286円とわずかな利息200円を差し引いた会費収入はである。一方、支出合計のうち、次年度繰越金以外の支出は493,746円と会費収入420,000円を上回るため、次年度繰越金は4,447,540と減少する。収支バランスはマイナスである。

4. 2025 年度役員（案）（資料6）

2024年度役員の中の、

会長： 清水 和彦

監事： 大和田 倫孝

の退任、

2025年度の新役員として、

会長： 藤原 寛行

監事： 清水 和彦

の就任について、案の通りに承認された。

新しい会長のもとで事務局も変更することとなった。

また、大和田先生から退職のため顧問も辞退したいとの申し出があり承認された。

5. 2025 年度の第 76 回栃木県臨床細胞学会学術集会（資料 7）

来年度（2025 年度）の学術集会については、担当は自治医大（病理）、会長は福嶋 敬宜先生にお願いし、会期と開催場所は、決まったら会員に連絡することになった。

6. 2024 年度・2025 年度の学術集会以外の事業（資料 7）

本年度（2024 年度）の LOVE 子宮啓発活動と細胞検査士養成活動は来年度（2025 年度）も行う予定であることを安達副会長に確認した。それ以外の来年度（2025 年度）の事業は現時点では未定であった。

7. その他（資料 7）

1) 年会費の納入方法

会費納入の方法は現在の方法でよいかについて今後、協議していく必要があると提案したが、すぐに結論はでないため、今後の課題として継続して協議することとなった。

2) 総会の開催

会則には会長、理事の総会による承認（第 11 条）、会計年度の決算の総会による承認（第 19 条）が書かれている。清水会長より、案として次のことが提示された。

1. 理事・評議員会後の会員への報告を総会とみなす。
2. 学術集会のプログラムに、必要に応じて総会を組み込む。
3. 総会の開催時間帯は今後の検討課題とする。

今回は、上記の案 1 に従い、会長、決算の承認を得ることで了承され、今後の総会のかたちについては引き続き検討していくこととなった。

3) 理事・評議員会開催の時間帯

清水会長より、案として、「総会の開催時間帯とともに、今後の検討課題とする」ことが提示され、承認された。